

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 4 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 1 1 月 4 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～正午		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、小宮山とみ子委員、本多詮明委員、前川正治委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、千賀義幸、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告 (10月23日開催)</p> <p>2 第32回貫井南センターまつりについて</p> <p>3 公民館運営の今後について</p> <p>4 各講座の報告と計画 [報告] 成人学校「淹めぐり」 [計画] 高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、成人学校「そば打ち体験」、市民講座「能と狂言の魅力～鑑賞への誘い」</p> <p>5 その他 ・企画実行委員連絡会 ・来年度講座の計画について</p> <p>次回の日程 平成 2 6 年 1 2 月 2 日 (火) 午後 3 時～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（開催日10月23日）

(1) 報告事項

ア 第55回関東甲信越静公民館研究大会について（報告）

10月16日（木）・17日（金）、熊谷市、行田市で「公民館よ あつくなれ」（～時代の変化に対応し、地域との連携を深める公民館をめざして～）をテーマに開催された。16日（木）に記念講演「作家・森村誠一」、17日（金）五つの分科会が開催された。委員長他参加された方は、公民館は日頃からの地域とのコミュニケーションとることが大切。社会教育法適用以外の公民館の存在を知った等の報告がされた。来年度の会場は、東京（小平市）となる。

イ 三者合同会議（研修会）について

11月14日（金）午後3時から「地域住民として、子ども達とどう向き合えるか」をテーマに開催予定。

ウ 公民館事業の報告について

貫井南分館からは、成人学校「アコースティックギター弾き語り入門講座」・「樹木ウォッチング」を提出。参加者の平均年齢も低く、幅広い年齢層が参加されている。開催時間帯が午後7時からというのが良いという感想を委員から頂いた。北分館の「きたまちアートフェスタ」について、次回以降も続けてほしいとの感想が多く寄せられた。

エ その他

都公連委員部会では、都公連脱退意思の東村山市に残留願いを都公連会長宛て提出予定。国分寺市公民館の公運審は5館にそれぞれ配置されていたが、一つになる予定。委員部会研修は、11月22日（土）午前10時から福生市公民館で開催予定。

(2) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは提出なし。

イ 公民館運営審議会ハンドブック（案）について

公民館とコミュニティーセンターとの違いや公民館と呼ばれるものの中での違いなども掲載予定。

ウ 平成26年度小金井市教育施策（公民館部分）について

この表記については、指導主事が作成したもので、このままとする。

エ 公民館事業の見直しについて

平成27年4月から東センターをNPOに委託する方向性となったため、公民館長から公運審に対し、委託準備に当たっての配慮、留意点について諮問を行う。事務局としては委託のための予算編成時間を考慮すると答申の時間がなく、11月19日を期限としたいが、公運審としては、貫井北センターが開設して間がないことや今後、小金井市の公民館がどうなるか、地域との今までの

密接な繋がり、新しい公民館を作っていくのは誰なのか、専門性のある行政マンがいない中でどう運営するのか、また行政とのつなぎ役をどうするのか、NPOの人材確保はどうなのかなど考慮すると、審議期間があまりにも短いため、答申提出期間を12月まで延伸しできるよう、最低あと1回（臨時会）の審議機会を事務局で用意するよう努めてもらいたいとした。

(3) その他

三者合同研修会は、平成27年2月3日（火）本館で午後2時からを予定。

次回の日程 未定

2 第32回貫井南センターまつりについて

開催は5月9日（土）、10日（日）を予定。準備会（全体会）は第1回が2月10日（火）、第2回は3月10日（火）のいずれも午前10時からを予定。なお、公民館のイベントは、5月9日（土）午後1時からを予定。音楽が2回続いたが、拘らず次回に案を提案していただく。この会議での一案として、沖縄音楽として沖縄舞踊も含めた三味線が提案された。

3 公民館運営の今後について

東センターを平成27年4月から貫井北センター受託のNPO法人「市民の図書館・公民館こがねい」に事業委託を方針となったことについて、10月23日開催の公民館運営審議会（第11回）へ公民館長が諮問を提出した。この諮問は、委託の是非ではなく、委託に際しての配慮、留意事項を求めるものである。これに対し公運審は審議時間が短期なため、回答期限の延伸と審議会の臨時会開催等の提案を行い、12月末までには、答申できない回答も含め、回答を行うとした。このことについて、当企画実行委員からはやはり時期尚早であり、決算なしの半年での評価をもって、委託準備に入るのは、単に委託ありきでしかない、色々な問題が本来あるべきで、きちんと検証を踏まえて行うべきであるとの意見が出された。

4 各講座の報告

【報告】

○成人学校「滝めぐり」

10月24日（金）の実施を終えた中で、参加者からの感想は概ね良かったとご意見をいただいた。その中で、歩くペースが早いことと説明がほしかったとのご意見に対して、次回以降、スタート前の事前説明、昼食後の説明、終了後の総括を入れると満足度が上がると思われる。また、次回以降は募集貴館を短くし、2週間前までには抽選の当落結果を伝達できるように準備を行なうこととする。車中での説明の中で、多数応募の抽選結果での当選であることを参加者に周知してもよかった。

【計画】

○高齢者学級「けやき学級」

10月22日（金）・29日（金）の泉岳寺及び東京港視察は、22日が雨天、29日は晴天となった。29日は本来のコースである防波堤の外まで見学を行った。

湾の今後の事業計画（埋め立て等）や湾内機能や仕事の説明を受けたことは、普段接することのない東京の水辺を知るうえで有意義であった。カリキュラムは5日（水）が講義として最後となり、12日（水）に閉講式を迎える。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

11月17日（月）は秋の収穫祭を緑センターで行う予定。既に各班のレシピ（料理メニュー）も決定しているが、イタリアン、韓国と国際色溢れたものとなっている。12月15日（月）実施の三浦大根掘り（イイジマ農園・神奈川県三浦市）の実踏は11月20日（木）を予定。三浦大根他、赤首大根、サラダ大根も掘る予定。

○成人学校「そば打ち体験」

10月23日応募締め切りで定員20人に対し、37人の応募の応募となった。翌日には抽選を行った。参加者の年齢は、54歳から75歳で、平均65.5歳となった。一班あたり5人体制とし、スタッフ班が4人であるため、1人増やし21人（男性8人、女性13人）の当選とした。出発時刻は8時30分から8時45分への変更となる。

○市民講座「能・狂言の魅力～鑑賞への誘い」

応募状況は、26人（男性7人、女性19人）となっている。公民館用意の機材は、プロジェクター、パワーポイントを使用するためパソコンは講師が持参するが、相性の関係から公民館でのパワーポイント使用可能なパソコンを準備しておく。資料代1千500円は、ご夫婦の場合、1冊で賄うことが可能か講師へ伺っておく。応募者には、4ヶ月の乳児とともに来館する方への対応として、席を最後列にして受講できる体制を考慮する。

5 その他

○企画実行委員連絡会

名札を持参することを本館から連絡を受けている。

○来年度講座の計画について

「木の花・草の花」について、具体的な案が講師から提案された。開催曜日は土曜日ではなく水曜日を予定。

次回の日程 12月2日（火）午後3時～ 学習室C